

対象年度	令和 6年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	農業再生対策事業						予算事業名	農業再生対策事業費						
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
			06	01	10	23	経常経費							
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう 特色ある農業の振興と活性化 活力ある産地の育成						事業の区分	主要事業						
							担当課係等	農政課 農政係						
事業期間	継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
需要に応じた米の生産と新規需要米等の他作物への作付け転換によって水田農業経営の所得安定を目指す。						米の過剰生産を解消するため生産調整が始まり、水田・陸田において主食用米以外の作物の生産 (転作) が推進された。								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
主食用米の需要に応じた生産調整を達成させるために、新規需要米の作付けを推進し、併せて農業経営の安定を図るための補助を行う。 ・担い手育成支援対策事業補助金 ・主食用米過剰作付け解消奨励金 ・新規需要米奨励金 農業再生協議会運営のための事務費 ・市農業再生協議会補助金 ・経営所得安定対策等推進事業費補助金						農業者 【事業をとりまく環境の変化】 人口減少や食の多様化により主食用米の需要が減少傾向にあるため、今後の水田農業を維持するには米の生産者、集荷業者等が主体的な経営判断や販売戦略に基づいて消費者が求める需要に応じた生産を行う形態を確立していく必要がある。								
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】						
需要に応じた主食用米の生産を振興する。山川あやめ園を公園として整備するのに伴い、隣接する敷地を駐車場として使用するための設計委託を行う。				需要に応じた主食用米の生産を振興する。山川あやめ園を公園として整備するのに伴い、隣接する敷地を駐車場として使用するための整備を行う。				需要に応じた主食用米の生産を振興する。						

■事業費

		R04年度	R05年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	7,988	6,800			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	33,951	33,604			
歳 入 計 (千 円)		41,939	40,404			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	10 需用費	49	0			
	11 役員費	9	9			
	12 委託料	1,477	795			
	18 負担金補助及び交付金	40,404	39,600			
歳 出 計 (千 円) (A)		41,939	40,404			
伸 び 率 (%)			-3.66			
備 考	総合計画84ページ 予算書135ページ					

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	転作現地確認作業延べ人数	人	目標	88.00	88.00	88.00
			実績	88.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	転作率	%	目標	100.00	100.00	0.00
			実績	134.78	0.00	0.00
	転作実施した面積/転作を配分した面積		目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	需要に応じた米の生産を推進するものであり必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政と農業者団体等の連携体制を構築した結城市農業再生協議会である。
	手段の妥当性	A 妥当である	米の生産調整を効率的に進めるとともに、新規需要米等の生産を推進するものであり妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	農業再生協議会事務局である水田農業振興室は市職員2人、農協職員2人で従事しており、事務費の大部分は国費からの補助金で運営している。米の生産調整を効率的に進めるものであり、農業者の経営所得の安定にもつながっており改善の余地はない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	主食用米が過剰生産にならないよう米の生産調整に取り組む農業者に対し補助するものであり、その実績に応じ補助するため受益者の偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	担い手農家による農地集積を推進した中で新規需要米が増加しており、主食用米の生産調整が図られている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	新規需要米が作付け配分面積を超えて作付けされており、主食用米の生産調整が図られている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
主食用米の過剰作付けを防ぐため、新たに需要のある作物への転換を促すとともに、農業経営の安定に向けた支援は必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
農業者に対し、米価の安定を図るための需要に応じた主食用米の生産と、新たな需要のある新規需要米や高収益作物（野菜）の生産をすることで水田農業における経営の確立を目指す。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>水田農業における経営安定を推進するため、水田収益力ビジョンに沿った農業者への支援を継続する。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり</p>